

新型コロナウイルス感染症への対応についての意識調査

(一社) 経済社会システム総合研究所 (IESS)

令和2年9月9日 公表

新型コロナウイルス感染症は世界各国の経済や社会に甚大な影響を及ぼしている（以下、「コロナ危機」と呼ぶ）。経済社会システム総合研究所では、人々が外出自粛やテレワークなどの対応をどの程度実施したのか、そうした対応の中でコミュニケーションはうまくとれたのか、コロナ危機後、増やそうと思う行動、減らそうと思う行動は何かなどについて6月下旬から7月上旬にかけ意識調査を行った。

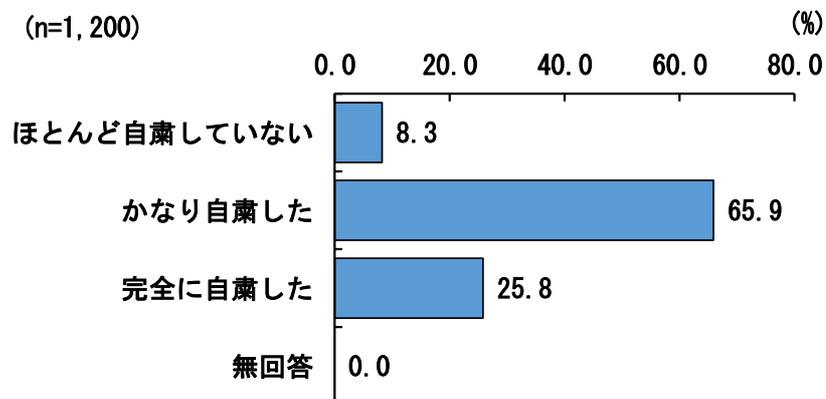
本調査を実施した時期は、5月25日に国の緊急事態宣言が解除された後、低水準となっていた全国の新規感染者数が緩やかに増加し始めた時期にあたる。

<調査結果>

(1) 自粛期間中の外出や営業の自粛の状況

国の緊急事態宣言や都道府県の自粛要請が出ている期間に、外出自粛や営業自粛をどの程度行ったかについては、かなり自粛したが65.9%、完全に自粛したのは25.8%と、約9割の人が自粛を実施したと回答した。

図表 自粛の状況



属性別の特徴をみると、地域別、都市規模別、性別の差は大きくなかった。年齢別では、30才代～50才代では、完全に自粛した割合は低く、10才代や60才代以上では高かった。職業別では、現場での仕事を中心となる農林漁業、労務・技能職、自由業で、ほとんど自粛していないとの回答が多かった。

図表 自粛の状況(年齢別)

(%)

	回答者数 (人)	ほとんど自粛 していない	かなり 自粛した	完全に 自粛した	無回答
全体	1,200	8.3	65.9	25.8	—
15～19歳	74	6.8	55.4	37.8	—
20～29歳	148	6.8	67.6	25.7	—
30～39歳	187	10.2	71.7	18.2	—
40～49歳	221	10.0	69.2	20.8	—
50～59歳	186	10.2	69.4	20.4	—
60～69歳	222	7.2	65.3	27.5	—
70～79歳	162	4.9	54.9	40.1	—

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

図表 自粛の状況(職業別)

(%)

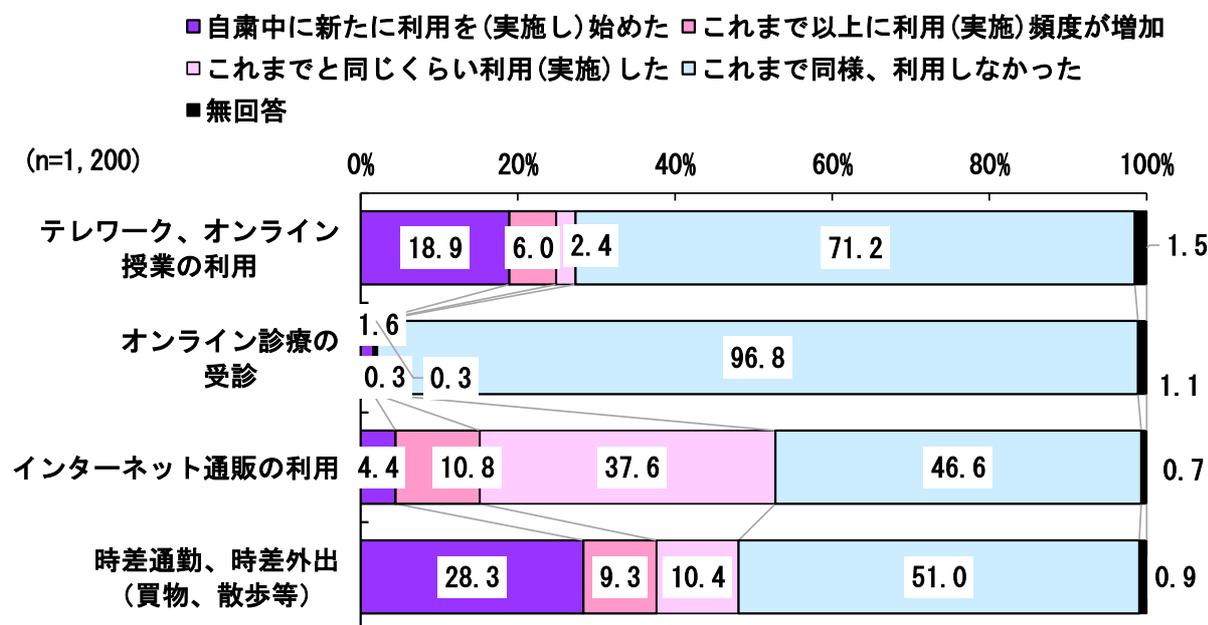
	回答者数 (人)	ほとんど自粛 していない	かなり 自粛した	完全に 自粛した	無回答
全体	1,200	8.3	65.9	25.8	—
農林漁業	13	15.4	53.8	30.8	-
自営・ 商工業	117	8.5	68.4	23.1	-
自由業	41	14.6	58.5	26.8	-
管理職	35	5.7	65.7	28.6	-
事務・ 技術職	246	7.7	69.5	22.8	-
労務・ 技能職	136	16.2	66.2	17.6	-
パート・ アルバイト	211	8.5	73.5	18.0	-
主婦・ 主夫専業	162	4.3	64.8	30.9	-
学生	102	4.9	57.8	37.3	-
無職	132	4.5	57.6	37.9	-

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

(2) 自粛期間中のテレワーク、オンライン授業等の実施状況

自粛期間中に、テレワークやオンライン授業を新たに利用し始めた人は18.9%となった。オンライン診療の受診は利用しなかったが96.8%を占めた。インターネット通販を新たに利用は4.4%、これまで以上に利用は10.8%となった。時差通勤、時差外出を新たに実施した人は28.3%となった。

図表 自粛期間中の利用(実施)状況



属性別の特徴をみると、10才代~30才代は、自粛中にテレワーク、オンライン授業を新たに利用したとの回答が約3割~4割強を占めた。

図表 テレワーク、オンライン授業の利用状況(年齢別)

(%)

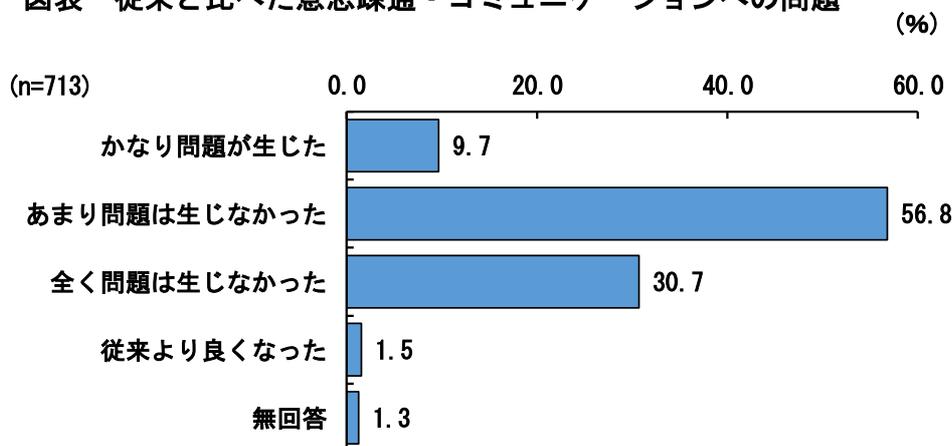
	回答者数(人)	自粛中に新たに利用を始めた	これまで以上に利用頻度が増加	これまでと同じくらい利用した	これまで同様、利用しなかった	無回答
全体	1,200	18.9	6.0	2.4	71.2	1.5
15~19歳	74	45.9	17.6	1.4	35.1	-
20~29歳	148	28.4	12.8	2.0	56.1	0.7
30~39歳	187	29.9	4.3	4.3	61.0	0.5
40~49歳	221	19.9	6.3	1.8	71.9	-
50~59歳	186	13.4	4.8	2.7	78.0	1.1
60~69歳	222	9.0	2.7	3.2	82.9	2.3
70~79歳	162	3.7	1.9	0.6	88.3	5.6

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

(3) 自粛期間中のインターネット活用によるコミュニケーションへの影響

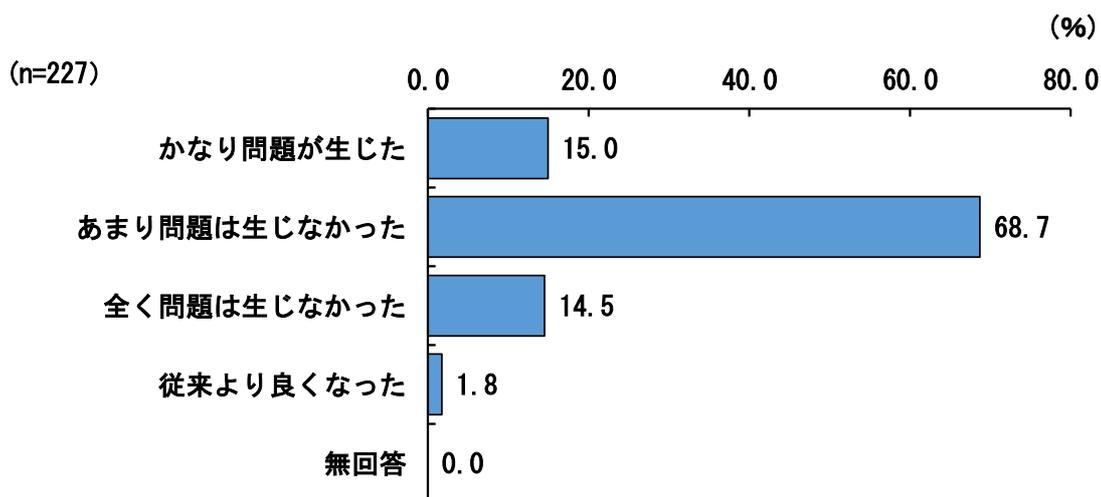
自粛期間中にテレワーク、オンライン授業、インターネット通販などインターネットを利用したことにより、意思疎通やコミュニケーションに問題が生じたかを聞いたところ、かなり問題が生じたとの回答は1割弱にとどまり、9割近くは問題は生じなかった（あまり生じなかった＋全く生じなかった）と回答した。

図表 従来と比べた意思疎通・コミュニケーションへの問題



テレワーク、オンライン授業を自粛期間中に新たに利用した人に限定して、回答をみると、意思疎通やコミュニケーションに問題は生じなかった（あまり生じなかった＋全く生じなかった）との回答が約8割となる一方、かなり問題が生じたも15%を占めた。

図表 従来と比べた意思疎通・コミュニケーションへの問題
(テレワーク、オンライン授業を自粛期間中に新たに利用した人)



(4)在宅時間が長くなったことによる家族への思いの変化(同居家族のいる方のみ)

回答者全体でみると、家族への思いに特に変化はないが63.0%、家族の絆やつながりの大切さを感じたが19.8%あったのに対して、むしろ、ストレスを感じたとする回答も16.5%を占めた。

男女別・年齢別にみると、女性は約2割がストレスを感じたとし、特に30才代～50才代でその割合は高かった。他方、男性はストレスを感じたが1割強で、女性に比べ低かった。

図表 在宅の長時間化による家族への思いの変化(性別・年齢別)

(%)

	回答者数 (人)	特に変化 はない	家族の絆や つながりの 大切さを感じ た	ストレスを 感じた	無回答
全体	1,086	63.0	19.8	16.5	0.7
男性	538	68.4	19.1	11.5	0.9
15～19歳	34	79.4	5.9	14.7	-
20～29歳	65	70.8	16.9	12.3	-
30～39歳	91	65.9	20.9	12.1	1.1
40～49歳	106	67.0	22.6	10.4	-
50～59歳	85	61.2	24.7	11.8	2.4
60～69歳	92	73.9	16.3	9.8	-
70～79歳	65	67.7	16.9	12.3	3.1
女性	548	57.7	20.4	21.4	0.5
15～19歳	36	69.4	11.1	19.4	-
20～29歳	69	63.8	20.3	15.9	-
30～39歳	85	44.7	29.4	25.9	-
40～49歳	102	46.1	29.4	23.5	1.0
50～59歳	89	58.4	15.7	25.8	-
60～69歳	100	61.0	18.0	21.0	-
70～79歳	67	73.1	10.4	13.4	3.0

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

(5)コロナ危機収束後も従来に比べ増やしたい活動

コロナ危機収束後も、従来に比べて増やそうと思うこととしては、時差通勤・時差外出が約4割、通販利用が3割弱、テレワーク・オンライン授業が約16%となった。オンライン診療の水準は約6%と低かったが、これまでに利用したとする回答者の割合(約2%)を大きく上回った。

属性別の特徴をみると、男性は女性に比べて、テレワーク・オンライン授業の利用を増やしたいとする回答が多く、逆に、時差通勤・時差外出は女性の回答が多かった。年齢別にみると、若年層ではテレワーク・オンライン授業やインターネット通販の利用が多かった。

図表 収束後に増やしたい活動(性別・年齢別)

(%)

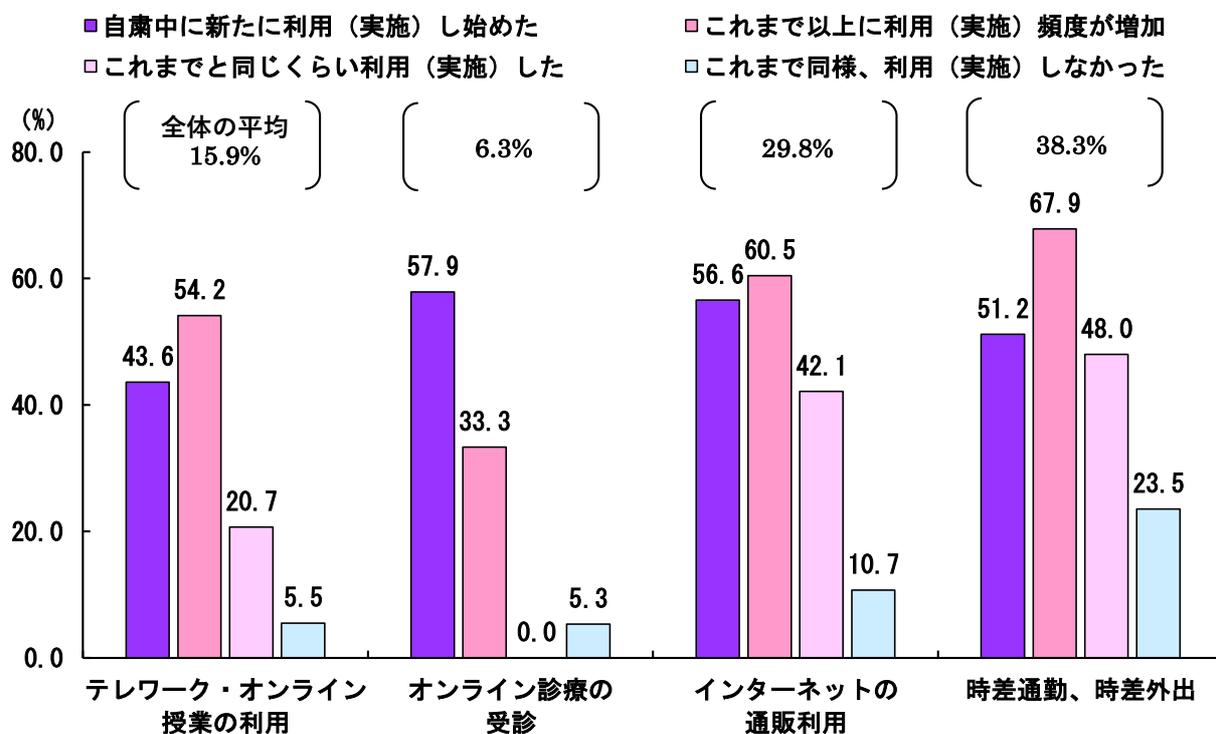
	回答者数 (人)	テレワーク・オンライン授業の利用	オンライン診療の受診	インターネットの通販利用	時差通勤、時差外出	その他	無回答
全体	1,200	15.9	6.3	29.8	38.3	12.6	18.9
男性	592	19.9	5.7	29.7	34.3	13.7	18.4
15～19歳	37	43.2	8.1	27.0	32.4	16.2	16.2
20～29歳	75	29.3	2.7	30.7	32.0	8.0	18.7
30～39歳	95	24.2	7.4	41.1	33.7	7.4	14.7
40～49歳	111	22.5	4.5	33.3	27.9	12.6	19.8
50～59歳	93	17.2	6.5	30.1	38.7	17.2	12.9
60～69歳	107	10.3	5.6	22.4	40.2	15.0	20.6
70～79歳	74	6.8	6.8	20.3	33.8	21.6	25.7
女性	608	12.0	6.7	29.9	42.1	11.5	19.4
15～19歳	37	27.0	2.7	27.0	37.8	10.8	16.2
20～29歳	73	20.5	5.5	38.4	24.7	12.3	16.4
30～39歳	92	21.7	14.1	51.1	34.8	3.3	14.1
40～49歳	110	14.5	6.4	33.6	45.5	10.0	20.0
50～59歳	93	6.5	5.4	35.5	40.9	10.8	19.4
60～69歳	115	4.3	6.1	14.8	56.5	17.4	16.5
70～79歳	88	1.1	4.5	11.4	44.3	14.8	31.8

(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

以下に示した図は、自粛期間中に各種の活動を経験したか否かで、今後の対応に差が生じるかを見たものである。

自粛期間中に各種の活動を「新たに利用し始めた」ないしは「これまで以上に利用した」人は、そうでなかった人に比べ、今後も利用を増やしたいと考える割合が顕著に高かった。

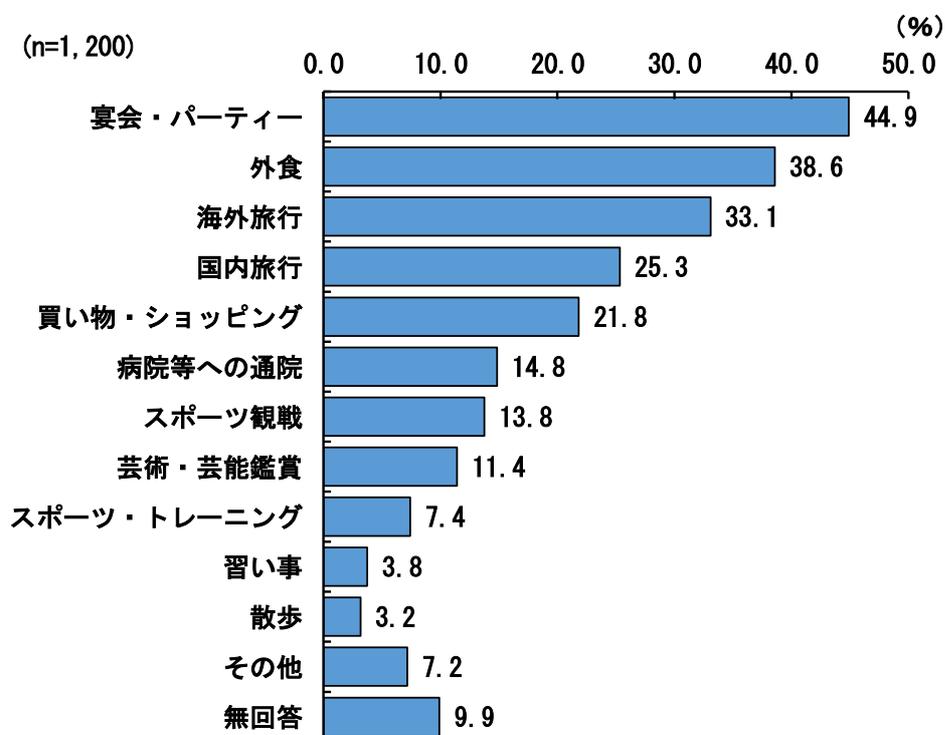
図表 コロナ収束後に利用を増やそうと思うか
(利用経験の有無による違い)



(6)コロナ危機収束後に減らそうと思う活動

コロナ危機が収まった後も、従来に比べて減らそうと思う活動としては、宴会・パーティー44.9%、外食38.6%、海外旅行33.1%などがあげられた。

図表 コロナ危機収束後に減らそうと思うこと(降順)



属性別の特徴をみると、年齢別では、30才代～50才代は宴会・パーティーを、10才代～40才代では海外旅行を減らすとする回答が多かった。

図表 コロナ危機収束後に減らそうと思う活動(年齢別)

(%)

	回答者数(人)	散歩	買い物・ショッピング	外食	宴会・パーティー	習い事	スポーツ・トレーニング	芸術・芸能鑑賞	スポーツ観戦	病院等への通院	国内旅行	海外旅行	その他	無回答
全体	1,200	3.2	21.8	38.6	44.9	3.8	7.4	11.4	13.8	14.8	25.3	33.1	7.2	9.9
15～19歳	74	2.7	24.3	29.7	36.5	1.4	2.7	8.1	10.8	8.1	24.3	35.1	9.5	14.9
20～29歳	148	3.4	16.2	29.1	37.8	2.7	2.7	7.4	14.2	12.8	20.3	37.2	7.4	12.8
30～39歳	187	3.7	18.7	41.2	50.8	2.1	4.8	12.8	15.5	13.9	32.6	39.6	4.8	10.7
40～49歳	221	0.9	19.0	40.7	49.8	3.2	8.6	14.0	14.9	19.5	25.8	36.7	5.9	11.8
50～59歳	186	2.7	21.0	40.3	52.2	3.8	7.0	11.8	15.1	13.4	23.7	30.1	7.0	4.8
60～69歳	222	5.4	29.3	39.2	45.5	6.3	10.8	11.7	14.0	16.7	22.5	30.6	8.1	7.2
70～79歳	162	3.1	24.1	42.6	32.7	4.9	11.1	10.5	9.3	13.6	27.2	22.8	9.3	11.1

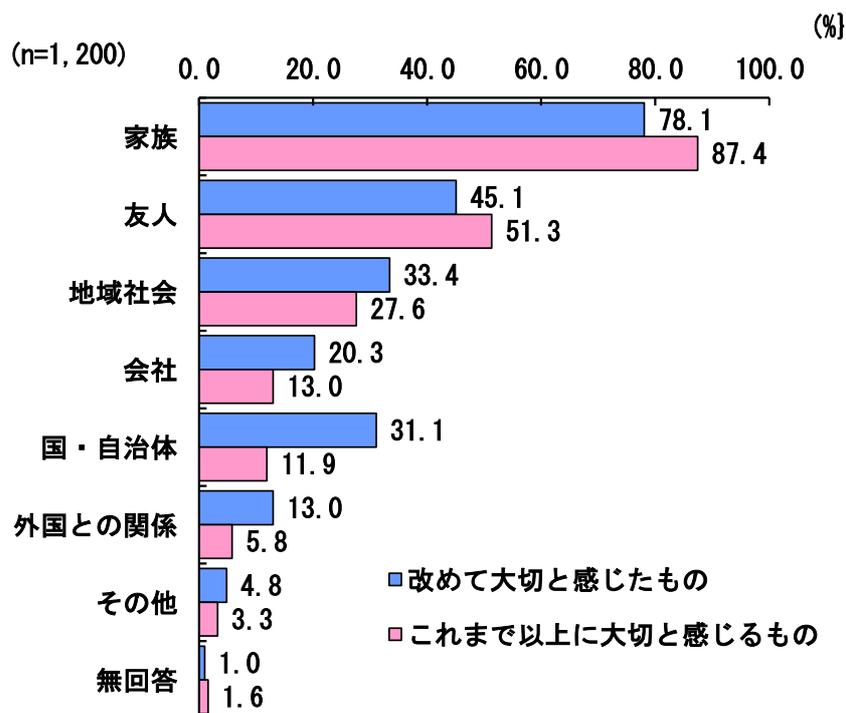
(注) 全体平均値とのポイント差 +10以上 +5以上 -5以上 -10以上

(7)コロナ危機で大切に感じたもの、今後これまで以上に大切にしたいと感じるもの

コロナ危機を経験して、改めて大切に感じたものとしては、家族が約8割と最も高く、友人、地域社会、国・自治体が続いた。

今後、これまで以上に大切にしたいと感じるものとしては、やはり家族が約9割と最も高く、友人、地域社会が続いた。

図表 大切に感じたもの、今後大切にしたいもの



<調査方法>

- 対象地域：全国
- 対象者：15～79歳の男女個人1,200人（1地点6人×200地点）。
- サンプリング：住宅地図データベースから世帯を抽出し、母集団（住民基本台帳）の性別、年齢別、居住地別の分布に合わせて個人を割り当て
- 調査期間：〔開始〕2020年6月26日(金)～〔終了〕同年7月7日(火)
- 調査手法：訪問留置調査（調査員が対象者を個別訪問して回答を依頼、1,200人回収するまで継続）
- 調査属性：性・年齢、職業（本人・世帯主）、年収（世帯・個人）、未既婚、学歴、家族形態、等
- 実査会社：株式会社日本リサーチセンター

<回答者の分布（居住地、性別、年齢別）>

《居住地》

（上段：回答者数（人）／下段：構成比

（%）

全体	北海道・東北	関東	中部・北陸	近畿	中国・四国・九州
1,200	132	444	192	192	240
100.0	11.0	37.0	16.0	16.0	20.0

《性別》

（上段：回答者数（人）／下段：構成比（%）

全体	男性	女性
1,200	592	608
100.0	49.3	50.7

《年齢別》

（上段：回答者数（人）／下段：構成比

（%）

全体	15～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才
1,200	74	148	187	221	186	222	162
100.0	6.2	12.3	15.6	18.4	15.5	18.5	13.5

<引用について>

本調査の結果を引用される際は、出典として（一社）経済社会システム総合研究所と明記されたい。